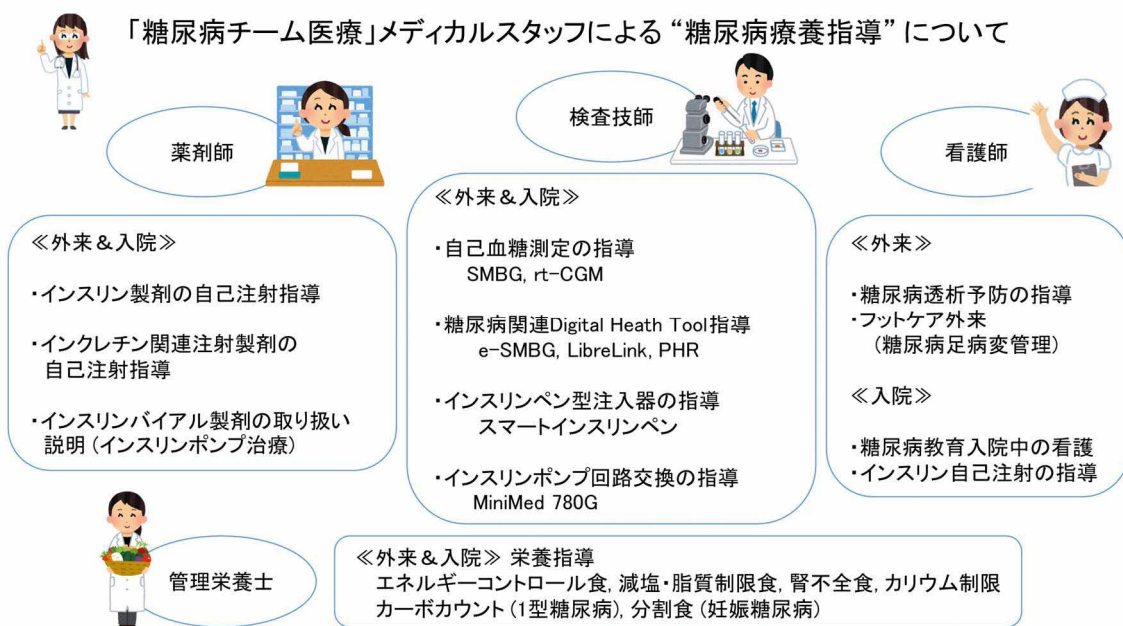


2024年7月13日に“第18回北河内糖尿病療養指導セミナー”が枚方ビオルネ5階のビーゴで開催されました。日本医師会 生涯教育システム登録研修会であり、日本糖尿病療養指導士 CDEJ (2群 0.5 単位)も取得できるオフィシャルな勉強会です。

同セミナーで1時間の特別講演を依頼された主任部長、張り切ってスライドを用意しました。1時間話そうと思えば、60~70枚はスライドが必要です。通常業務（外来業務に病棟業務、管理業務に加えて、会議に打ち合わせに面談に専攻医の指導も🌀）の合間に時間を見つけては、コツコツ作成します。

演題名は「注射製剤による糖尿病治療と“糖尿病療養指導”について」です。注射製剤による糖尿病治療を導入するには、糖尿病チーム医療に関わるメディカルスタッフの働きが欠かせません。彼らは実に多岐にわたる業務を担当し、当科の糖尿病チーム医療に多大なる貢献をしてくれています。



お写真は当科の“糖尿病チーム医療カンファレンス”（糖尿病センターだより5号 part1 をご参照下さい）の風景です。



このように、「チームで糖尿病を治療することの重要性」を、勉強会の参加者に、具体的な症例を挙げながら分かりやすくお話させていただきました。

当院の管理栄養士さんも一般演題で発表しました。演題名は「チームで取り組む糖尿病療養指導」です。当科が2024年1月より始めた“糖尿病透析予防指導”の取り組みについて、実際のワークフローを説明し、具体的な症例を用いて発表してくれました。実は管理栄養士さん、生まれて初めての発表（発表デビュー）でして、その緊張感…こちらにも痛いほど伝わってきました。発表の序盤にPower Point を操作する手が震えているのが見えましたが、制限時間を超過することなく最後までしっかり話すことができました。発表後にフロアからいくつ

もご質問頂き（たくさんご質問頂けるのは良い発表だった証拠です）、それらに自力できちんと答えられたのは本当に素晴らしかったです。発表後の感想は、「大変勉強になりました、他のご施設の発表も素晴らしかったです。」他のご施設は、糖尿病看護認定看護師さんなどのベテランスタッフさんが発表されておられましたので、彼女本当によく頑張ったと思います。お写真は、必死のパッチ（関西人なら知っているはず）の管理栄養士さんと、無事に発表を終えての2ショットお写真です。お疲れ様でした!!



糖尿病チーム医療・糖尿病療養指導に憧れているあなた、日本糖尿病療養指導士の資格に興味のある君、私達と一緒に働いてみませんか？ 楽しいですよ！

市立ひらかた病院 糖尿病センター  
糖尿病センターだより6号 2024年8月